

(社) 情報科学技術協会 (INFOSTA) 情報検索基礎能力試験に対する別府大学司書課程の取り組みについて

皆上 勝哉

社団法人情報科学技術協会 Information Science and Technology Association (INFOSTA) は毎年日本の主要都市 (2006 年当初発表実施会場 東京、名古屋、大阪、福岡、つくば、上田) で情報検索能力試験を行っている。別府大学司書課程は、2006 年別府会場の新設をめざし、別府大学、APU 立命館アジア太平洋大学や大分大学の学生に呼びかけて準備を行い、別府大学を新たな試験会場とする承認を頂いた。ここにこの間の経緯を報告する。

1) 情報科学技術協会の概要

情報科学技術協会は、1950 年 UDC 研究会として発足し、1958 年日本ドキュメンテーション協会と改名、1986 年情報科学技術協会と改名して現在に至っている。活動として、発足時の名称が示すように UDC (Universal Decimal Classification; 国際十進分類法) の簡略版の発行や各種の研修会やシンポジウムを開催、種々の出版物や会誌の発行を行っている^a。

2) 情報検索基礎能力試験

情報検索能力試験は、学術情報等の情報検索およびその結果の評価、加工に関する知識・技能ならびに企画力およびコンサルティング能力を客観的に認定し、その能力に対する社会的認識を高めるとともに、その資質ならびに知識・技能の向上を図ることを目的とて、1993 年から実施しており、毎年 1,000 人規模の人が受験している。^b

3) 別府大学司書課程

別府大学は、1961 年に第 1 回司書・司書補講習を開催以降現在までに約 8500 人の司書・司書補の修了生を送りだした。その実績を基に 1969 年から司書課程を開設した。司書課程では 3904 名の司書を送りだした。現在、司書課程開講科目として司書科目 17 科目、学校図書館司書教諭科目 5 科目を司書課程専任教員 2 名、学内兼任教員 5 名、非常勤教員 6 名で開講している。短大生は 1 年次から、4 大生は 2 年次から受講可能で、2006 年度約 173 名の有資格者を送り出した。開講の特色は、受講の意思さえあれば、全ての学生が受講可能なように時間割りが編成されている。

1996 年 4 月 24 日付け生涯学習審議会社会教育分科審議会の「社会教育主事、学芸員及び司書の養成、研修等の改善方策について」(報告) をうけて、1996 年 8 月に図書館法施行規則が大きく改正された。別府大学司書課程では、審議会の答申をふまえ、図書館法施行規則改正に沿って 1997 年度から司書講習及び司書課程の科目の改正を行った。新たな科目の中に情報化社会の進展に併せて「情報検索演習」の科目が新設された。因みに審議会の「情報検索演習」のねらいは、「データベースの検索の演習を通して、実践的な能力の養成を図る。とし授業科目の内容は、データベース検索の実際 (オンラインの他、オンディスクの演習も含む) と記されている。

別府大学附属図書館では、1986 年からコンピュータを導入して、業務の改善を行ってきた。「情報機器論」「情報検索演習」を修得してコンピュータと情報科学関連に興味を持つ学生のために、選択科目の「資料特論」として「情報検索演習Ⅱ」を開講した。

FOUBL の活動

FOUBL (Friendly of Beppu University Library) は 1995 年司書課程受講学生の中から、実際に図書館の業務に触れて、図書館をより深く学びたい学生たち 10 数名で結成したクラブ活動である。2006 年現在 30 数名の部員を擁し幅広い活動を行っている。「情報検索演習Ⅱ」を担当していた教員西村靖史氏の強い勧めにより、1999 年から情報科学技術協会の「情報検索基礎能力試験」を FOUBL の学生達が受けるようになって今日に至っている。当時使用していた受験対策のためのテキストとして、(社) 情報科学技術協会編・発行の『情報検索演習の基礎』を使用した。内容的には、目次を拾ってみると①情報検索の基礎 ②一次情報と二次情報 ③データベースの基礎 ④シソーラス ⑤データベース検索の基礎 ⑥パソコン通信とインターネット ⑦知的所有権・標準化となつて、現在、上記協会編・発行の「情報検索の基礎知識」新訂版と项目的な取り上げ方は共通点が多い。FOUBL の学生にとって試験に合格することが部員としての一つの試金石となっている。

2004 年から、受験を FOUBL 主催、司書課程後援として、受験手続き、福岡会場までのバスの手配などを行い、教員も同行した。受験に万全を期すため、受験前日に福岡に宿泊する一泊二日態勢をとってきたことなど、経費、時間も負担が大きかった。2005 年には、FOUBL 以外の学生も数名が参加、総数 18 名で受験した。幸い全員が合格した。司書課程では、FOUBL の主催であるが、司書課程の年間活動の一つとし位置づけることにした。

4) 2006 年の取り組み

FOUBL 部員と司書課程教員と協議を重ね情報検索基礎能力試験受験実行推進委員会(以下「実行推進委員会」という)を設立して、今後この実行推進委員会の下で活動することとした。

別府大学内に受験会場を確保するためにはクリアしなければならない条件として。

1. 受験生 20 名以上の確保
2. 自前会場の確保
3. 自前の監督者確保
4. その他 受験者全員の合格を目指すための勉強会

1. 受験生 20 名以上の確保と勉強会について

2005 年 18 名が別府大学から受験した経緯から、2006 年は前年を上回る人数の確保をめざした。司書課程後期の科目「情報検索演習」受講者約 160 名に情報検索基礎能力試験の意義、別府大学会場での受験のメリット、9 月下旬からの勉強会の開催計画などを別府大学司書課程の WEB サイトなどから広報し、APU 立命館アジア太平洋大学の図書館を通じて同様の働きかけを行った結果、大学の職員を含めて 30 数名が興味を示してくれた。最終的には、35 名の受験申込者を確保することができた。

2. 自前試験会場 大学事務局の快諾により、快適な大教室が提供され、INFOSTA から求められた会場の設営要件はすべて事前に整っていた。

3. 自前の監督者 試験監督に皆上勝哉、監督補助者には FOUBL からの 3 名が担当と決定した。

4. 勉強会

勉強会は参加者の授業時間割、勤務時間、勉強会会場(別府大学別府キャンパス)までの所要時間(APU 立命館アジア太平洋大学、別府大学短期大学部大分キャンパス)の制約から参加できない人のことを考慮して、火と木曜日は 5 限目(4:20~5:50)、土曜日は午後(1:00~3:00)の週 3 回の開催、担当講師は、火と木曜日は FOUBL、土曜日は石井保廣氏と皆上が交互に担当した。教材は、『情報検索の基礎知識』新訂版 原田智子 他著 情報科学技術協会 2006 年 会員価格 1800 円を使用した。副教材として、FOUBL がこれまで部員が使用してきたテキスト『情報検索の基礎知識』2003 年発行をベースにまとめた「サーチャー試験勉強会まとめ」と 2000 年

以降の過去問題を使用した。過去問題は 2003 年版をもとにして作成されており、新訂版をもとにする今年度の問題とずれる懸念があった。勉強会の詳細については、別府大学司書課程ホームページ (www.beppu-u.ac.jp/lc) 情報検索基能力試験を掲載した。

new 「情報検索基礎能力試験」を別府大学で受験しよう！

○勉強会の実施

以下の日程で実施します。学内外のどなたでも参加できますので事前にお申込みください。

A コース、B コース選択や掛け持ち、部分受講、中途参加も OK です

(1) A コース (基礎からみっちり) 300 番教室

参考書の読み合わせや過去問題のチェックを行います。

回	月 日	曜	時 間	勉 強 会 内 容	主担当
1	10月10日	火	16:20~17:50 時間延長の 場合もあります	参考書「情報検索の基礎知識 新訂版」にそって、じっくりと 一から行う勉強会。 まだ、司書課程を受講してい ない 1 年生も大いにチャン スがあります。	FOBUL
2	10月12日	木			FOBUL
3	10月17日	火			FOBUL
4	10月19日	木			FOBUL
5	10月24日	火			FOBUL
6	10月26日	木			FOBUL
7	10月31日	火			FOBUL
8	11月2日	木			FOBUL
9	11月7日	火			FOBUL
10	11月9日	木			FOBUL
11	11月14日	火			FOBUL
12	11月16日	木			FOBUL
13	11月21日	火			FOBUL
／	11月23日	木	開催しない (勤労感謝の日)		

(2) B コース (スポットで必要なところのみ参加) 300 番教室

過去問題から話を展開していきます。

回	月 日	曜	時 間	勉 強 会 内 容	主担当
1	10月21日	土	13:00~15:00 時間を変更する 場合があります	情報と検索理論	皆上勝哉
2	10月28日	土		コンピュータとインターネット	石井保廣
3	11月4日	土		情報化社会に生きる	皆上勝哉
4	11月11日	土		情報の組織化とデータベース	皆上勝哉
5	11月18日	土	APU 出前	アプリケーションソフト	石井保廣
6	11月21日	火	振替勉強会	質疑応答、アプリケーション等	石井保廣
7	11月25日	土		試験前日総まとめと自由学習	石井保廣

第 4 回 (11/11) 「情報の組織化とデータベース」は司書課程向け、

第 6 回 (11/18) 「アプリケーションソフト」は情報リテラシー教育向け

○参考書の共同購入

試験の際の重要な参考書である「情報検索の基礎知識 新訂版」2000 円を 1600 円で共同購入します。下記連絡先か司書課程石井保廣 (学内) まで申し込んでください。(残部は極少となりました)

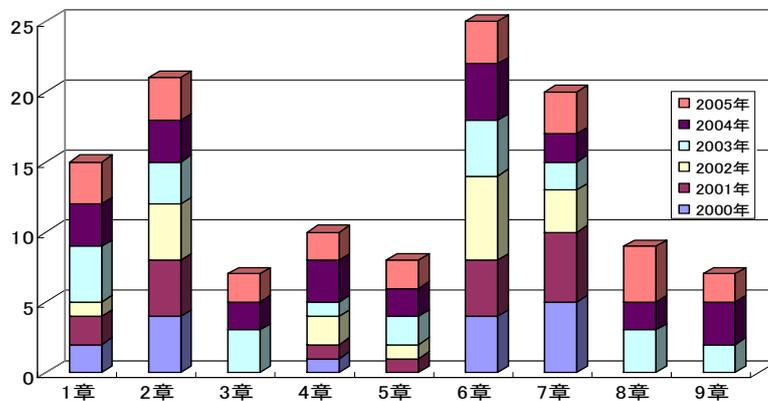
○連絡先&広報

- ・受験希望の方は氏名、連絡先、受講希望（A、Bコース、部分受講）及び参考書の有無を明記のうえ、infobeppu@yahoo.co.jp または Fax. 0977-66-7872（実行推進委員会宛）まで（受験申請書、パンフレットも備え付けております。）
- ・広報 <http://www.beppu-u.ac.jp/lc>（エル・シー）

勉強会の出席者は、受験希望者が35名に達したが、時間の制約からA、Bコースにそれぞれ半数程度の方が出席して熱心質疑応答を繰り返し学習した。石井氏が2000年以降の過去問題を『情報検索の基礎知識』新訂版から分析した下表を参考にして出題頻度の高い、第2、6、7章を後半の週では、主に学習した。

第1章 情報の生産と流通 第2章 情報の検索と利用に関する知識 第3章 コンピュータに関する基礎知識 第4章 インターネットに関する基礎知識 第5章 情報社会 第6章 情報の蓄積段階における組織化 第7章 データベース 第8章 情報の活用と発信 第9章 ソフトウェアの利用である。

年	1章	2章	3章	4章	5章	6章	7章	8章	9章	他
2000年	2	4		1		4	5			
2001年	2	4		1	1	4	5			1
2002年	1	4		2	1	6	3			
2003年	4	3	3	1	2	4	2	3	2	
2004年	3	3	2	3	2	4	2	2	3	
2005年	3	3	2	2	2	3	3	4	2	



学生の受講者の殆どは、資料組織概説、情報サービス概説を前期に受講、後期に情報検索演習、図書館資料論を受講中であり、試験時期としてはグッドタイミングであった。

・試験場の設営

前述したが、教室は、試験会場と開始時間より早めの到着者ために控え室の2室を用意した。教室は205人収容の大教室で整備されており、4人用の机に受験者一人席とする余裕であり、準備の作業としては、受験番号を机に貼り付ける作業と校門に掲示する立て看板・試験会場までの案内標示板を準備したに過ぎず、用品は協会から送付された品々で済んだ。当日9時集合を確認して終了した。

・試験日（2006年11月26日）

当日あいにくの雨であったが、一人の欠席者を除き、遅刻者もなく、監督者、監督補助者の監督マニュアルに従いトラブルもなく順調に進行・終了した。解答用紙、その他送付されてきた用品を協会へ返送して全てが終了した。後は結果を待つのみであった。

試験当日の大学正門前



試験開始前の教室



後記 試験の結果評価 別府大学会場の受験者 34 名中合格者は 25 名で合格率約 73.5%である。INFOSTA では、1993～2005 年の累計受験者 7,621 人合格者 5,835 人率 76.6%と発表している。2006 年のデータが発表されていない段階では、いちがいに論じることにはできないが、情報科学技術協会の指定テキストが『情報検索の基礎知識』新訂版に改めされたことなどから、2006 年の合格率は若干低下するのではないかと思われ、別府大学会場の合格率も平均値に達すると考えられる。しかし、合格率 85%以上と想定していたので、残念至極で担当者の責任と考えている。今後の課題とつながるが、2006 年の不合格者 9 人のうち 6 人が「あと一歩です」、2 人が「もう少しがんばりましょう」と通知されている。2007 年の受験では、「あと一歩です」を合格ラインに引き上げるよう勉強会での指導方針を検討する必要があると考えている。

・今後の課題

2007 年も別府大学が試験会場となるための条件は、INFOSTA 側に特段の変化がなければ、クリアしなければならぬ条件は受験者数 20 名以上の確保である。司書課程の受講者で「情報検索演習」受講者は約 170 名程度であるが、必ずしも INFOSTA 情報検索基礎能力試験受験者と直結せず、他に受験者の確保に努めなければならない。周辺の大学（大分大学、日本文理大学）の学生・職員にも早い時期から周知して、受験希望者を募り、勉強会を始める必要がある。

謝 辞

別府大学会場の新設に当たって支援、ご協力頂いた方々に感謝の意を表します。

別府大学情報教育センタ所長西村靖史氏

別府大学司書課程の情報関連科目を担当下さった当初から情報検索基礎能力試験の受験に先駆的に指導して下さいました。

(社)情報科学技術協会 (INFOSTA) 専務理事事務局長 田村紀光氏

遅い時期の申込にもかかわらず、別府大学試験会場認定の許可と、設定のための各種の助言を下さいました。

^a 情報科学技術協会・協会のあゆみ参照

^b 同上・基礎能力試験の項参照